【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成23年11月4日(2011.11.4)

【公開番号】特開2010-88214(P2010-88214A)
【公開日】平成22年4月15日(2010.4.15)
【年通号数】公開・登録公報2010-015
【出願番号】特願2008-254888(P2008-254888)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｊ　7/00　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　10/48　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　10/44　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｊ　7/00　３０２Ｃ
Ｈ０２Ｊ　7/00　Ｘ
Ｈ０１Ｍ　10/48　Ｐ
Ｈ０１Ｍ　10/48　３０１
Ｈ０１Ｍ　10/44　Ｐ

【手続補正書】
【提出日】平成23年9月20日(2011.9.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の充電池と、
熱源と、
上記複数の充電池と上記熱源との位置関係に基づいて上記複数の充電池を循環的に選択し、選択した充電池から機器内の負荷に電力を供給させる電源制御手段と
を具備したことを特徴とする電子機器。
【請求項２】
上記電源制御手段は、より上記熱源に近い充電池の連続駆動時間が上記熱源から遠い充電池の連続駆動時間より短くなるように複数の充電池から機器内の負荷に電力を供給させることを特徴とする請求項１記載の電子機器。
【請求項３】
上記複数の充電池それぞれの温度を検出する検出手段
をさらに備え、
上記電源制御手段は、上記検出手段で検出した温度に応じて上記複数の充電池を循環的に選択し、選択した充電池から機器内の負荷に電力を供給させることを特徴とする請求項１又は２記載の電子機器。
【請求項４】
上記電源制御手段は、より温度の高い充電池の連続駆動時間が低い温度の充電池の連続駆動時間より短くなるように上記複数の充電池を循環的に選択し、選択した充電池から機器内の負荷に電力を供給させることを特徴とする請求項３記載の電子機器。
【請求項５】
上記検出手段は、上記複数の充電池それぞれの残容量をさらに検出し、
上記電源制御手段は、上記検出手段で検出した検出結果に応じて上記複数の充電池を循

環的に選択し、選択した充電池から機器内の負荷に電力を供給させることを特徴とする請求項１～４の何れか記載の電子機器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】電子機器
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、高熱を発する熱源を有する電池電源のプロジェクタ装置などに好適な電子機器に関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明は上記のような実情に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、電源となる充電池の長寿命化を図ることが可能な電子機器を提供することにある。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
請求項１記載の発明は、電子機器であって、複数の充電池と、熱源と、上記複数の充電池と上記熱源との位置関係に基づいて上記複数の充電池を循環的に選択し、選択した充電池から機器内の負荷に電力を供給させる電源制御手段とを具備したことを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
請求項２記載の発明は、上記請求項１記載の発明において、上記電源制御手段は、より上記熱源に近い充電池の連続駆動時間が上記熱源から遠い充電池の連続駆動時間より短くなるように複数の充電池から機器内の負荷に電力を供給させることを特徴とする。
請求項３記載の発明は、上記請求項１又は２記載の発明において、上記複数の充電池それぞれの温度を検出する検出手段をさらに備え、上記電源制御手段は、上記検出手段で検出した温度に応じて上記複数の充電池を循環的に選択し、選択した充電池から機器内の負荷に電力を供給させることを特徴とする。
請求項４記載の発明は、上記請求項３記載の発明において、上記電源制御手段は、より温度の高い充電池の連続駆動時間が低い温度の充電池の連続駆動時間より短くなるように上記複数の充電池を循環的に選択し、選択した充電池から機器内の負荷に電力を供給させることを特徴とする。

請求項５記載の発明は、上記請求項１～４の何れか記載の発明において、上記検出手段は、上記複数の充電池それぞれの残容量をさらに検出し、上記電源制御手段は、上記検出手段で検出した検出結果に応じて上記複数の充電池を循環的に選択し、選択した充電池から機器内の負荷に電力を供給させることを特徴とする。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
本発明によれば、電源となる充電池の長寿命化を図ることが可能となる。